

道路事業の再評価概要書

() は、前回計画時

道路事業の再評価概要書			番 号	2
			事業主体	栃 木 県
事業名	快適で安全な道づくり事業	事業所管課	県土整備部 道路整備課	
路線・河川名	主要地方道 那須烏山矢板線	事業箇所名	さくら市 鹿子畑 ^{かのこばた}	
事業区間	さくら市鹿子畑 ^{かのこばた} ～金枝 ^{かなえぎ}	事業延長	4,500m	
H20 年度事業化		H20 年度用地着手		H20 年度工事着手
事業期間	(H29) H20 年度～H34 年度	事業 進 捗 状 況	基準年次：【平成 29 年度末時点】	
[うち用地補償費]	[3.4 (4.5) 億円]		[うち用地補償費]	[3.3 億円] [99%]
全体事業費	16.1 (15.1) 億円		既投資事業費	9.6 億円 60%
事業概要				
<p>主要地方道那須烏山矢板線は、那須烏山市を起点として、さくら市東部地区を通過し矢板市を終点とする、栃木県北東部地域の産業・観光・日常生活を支える重要な路線である。</p> <p>本区間の現道は、通学路であるが歩道もなく幅員狭隘で屈曲部も多く見通しが悪いことから、喜連川小の児童が大変危険な状況となっている。また、大型車のすれ違いも困難な状況にあることから、日常生活の安全確保と円滑な交通の確保が課題となっている。</p> <p>このため、現道区間に代わるバイパスを整備することにより、安全で円滑な交通の確保に併せ、観光・地域産業の支援・地域間の交流連携強化を実現するものである。</p>				
事業を巡る社会経済情勢の急激な変化、技術革新、事業計画の大幅な変更 等				
事業期間の延伸及び全体事業費の変更				
事業の投資効果				
1 費用対効果分析結果		【総便益 (B)】	【総費用 (C)】	
(1) 事業全体 B/C=1.8		35.4 億円	19.8 億円	
(2) 残事業 B/C=4.0		33.9 億円	8.5 億円	
2 事業の整備効果等				
<ul style="list-style-type: none"> ・狭隘区間解消による交通の円滑化 ・通学児童等の安全確保 ・観光・地域産業の支援・地域間の交流連携強化 				
事業の進捗状況等				
1 事業の進捗状況				
<ul style="list-style-type: none"> ・(一) 蛭田喜連川線交差点以北 (1.1km) は、平成 23 年度に供用した。 ・(一) 蛭田喜連川線交差点以南については、現在、一部工事を実施しているところであり、今年度中に供用予定である。 				
2 今後の事業進捗の見込み				
<ul style="list-style-type: none"> ・未供用区間 (2.9km) について今後は引き続き用地取得及び工事を推進し、平成 34 年度に全線供用を図る予定である。 				
コスト縮減等				
1 コスト縮減方策				
<ul style="list-style-type: none"> ・再生骨材、再生アスファルト合材の積極的に活用しコスト縮減 ・建設発生土の公共工事間流用によりコスト縮減 				
2 代替案立案等の可能性				
<ul style="list-style-type: none"> ・既に大部分の用地を取得していることから、本計画が最適である。 				
事業の対応方針 (案)		本計画で事業を継続する。		

事業箇所(位置図、概要図)

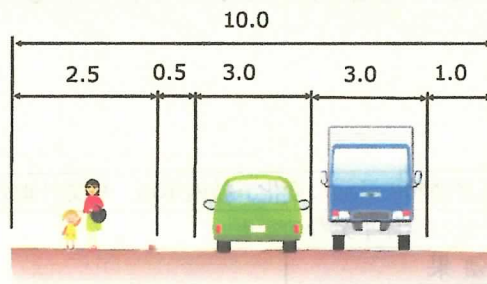
位置図



標準横断面図

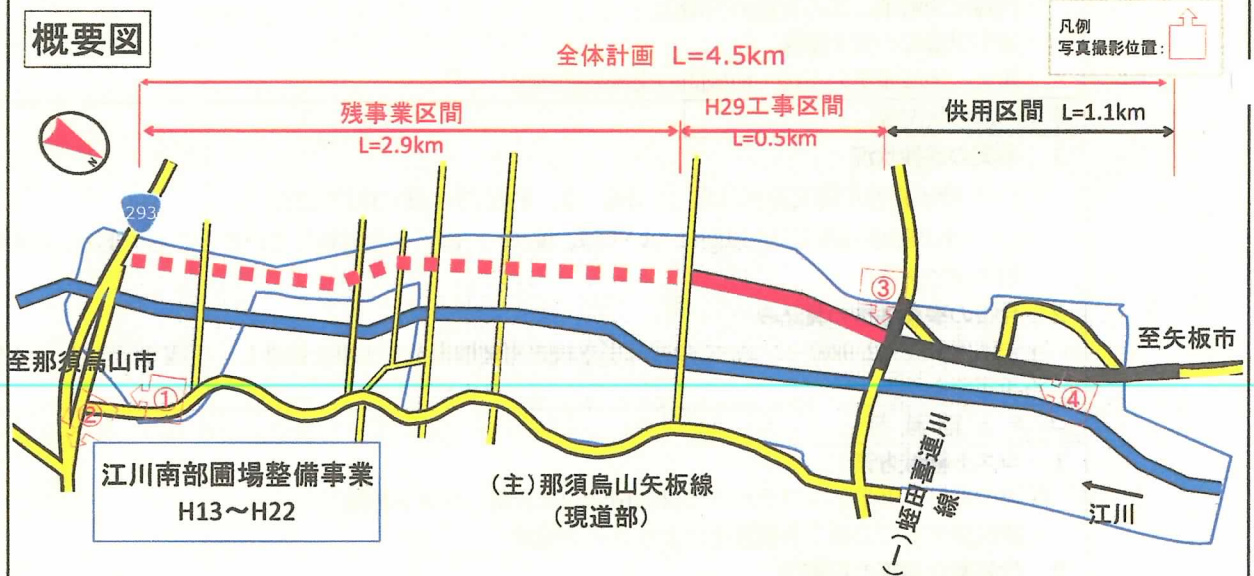
計画

(単位:m)



※西側に歩道を整備

概要図





①

現況の状況

②



③

共用区間 【(一) 蛭田喜連川線交差点】



④

共用区間 【(一) 蛭田喜連川線交差点以北バイパス部】